

令和7年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	84	学校名	静岡県立新居高等学校	記載者	川村 勇夫
------	----	-----	------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	生命が守られ、安全で安心して生活できる校内環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 命を大切にし、思いやる心を持ち、判断力、行動力のある生徒が育つ。 相談を適切に対処していると答える保護者90%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 命の大切さ、思いやりの心、生徒・保護者共に高い達成度が素晴らしい。 SNS被害にあわないように生徒とのコミュニケーションをとっていただきたい。
		<ul style="list-style-type: none"> 「いじめ」を感じる生徒が早期に発見され、適切に対処される。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 市内中学に事例があり心配している。早期発見、早期対応が大切である。 記名式でいじめアンケートを実施しているが無記名で試すことも良いのではないか。 表に出てこない小さな声を拾い、誰一人取り残さない対応になっているか検討してもらいたい。 全体的数値よりも、良い評価をしていない少数の生徒を重要視していかなければならない。本来100%を目指すべき項目といえる。
		<ul style="list-style-type: none"> 施設不備による事故0件 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 常に点検することが必要。 県のサポートや補助が必要な施設が発生したら情報共有をお願いしたい。 危険個所だけでなく、ヒヤリハットを収集していくと良いと思う。
		<ul style="list-style-type: none"> 津波対策を意識した訓練ができる。 防災訓練に真剣に取り組む生徒80%を超える。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 特に注目される地域。まず津波から逃げることを校内へ周知する。 外国籍の方の地域防災の参加が少ない。子供に防災意識があれば、参加しない家庭の参加も増えるのではないかと期待する。 地域訓練は年々参加者が減少している。その中の20%は評価できるのではないか。 地域訓練の参加率を改善する努力をしてほしい。 学校外（登下校など）での考えさせる場面があると良い。
		<ul style="list-style-type: none"> 生徒の交通事故0件、交通違反0件 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 過去に死亡事故があった。注意喚起が必要。 自転車の運転等、法律も厳格化される。指導の徹底をお願いする。 交通ルールが厳しくなり違反者が増える可能性があるのでは。指導をお願いしたい。 青色切符に対する周知を行ってほしい。

イ	基本的 生活習慣の 確立と自 立した生 徒の育成	・挨拶、礼儀、正しい身なりなど、当たり前のことがきちんと身に付く。	A	A	・挨拶、礼儀は終生自分の身を守る。身につくように指導を願う。 ・新居高校の生徒は他校に比べて挨拶がしっかりできる印象である。引き続きご指導お願いします。 ・保護者の理解を得ることや家庭内での躰等、家庭を連携した指導が必要である。
		・問題行動が未然に防がれ落ち着いた学習環境が維持される。	A	A	・指導にも思いやりが大切と考える。長い人生で先生のありがたさがわかる指導を期待する。 ・できれば地域住民との交流を通じて学ぶなど、社会に出ることを意識してルールや道徳心の向上に注力していただきたい。
		・生徒指導への保護者の理解度 80%以上	A	A	・保護者の係りが必要。犯罪に加担しないように願う。 ・生徒と保護者で指導の内容や意味合いの整合性を取ることが必要と考える。 ・親の対応が難しくなっていると感じる。 ・進路指導等の共有については、やや課題があると感じる。
		・通級指導を通じて支援の方法を学んだと答える教員 90%以上	B	B	・現場に即した対応について、教員間で情報共有や学び合う機会があると良い。
		・規則正しい生活習慣が身に付く。	A	A	・規則正しい生活習慣は健康への第一歩であることへの理解も示すと良い。 ・食育にも力を入れてほしい。 ・ルールやマナーの理解と自分の行動変容について考える機会があると良い。
		・ルールについて自ら考える機会を各学期1回設定する。	A	A	・公共マナーは全国共通で自分勝手なことは適用できない周知必要。 ・校外に出て身に着けることも有効であると考ええる。
		・積善に取組めたと答える生徒・教員 90%以上	A	A	・自らの意志で積善に取り組むことを期待。
		・奉仕活動に全員が参加し奉仕の心が育つ。	A	A	・ボランティア精神は生涯にわたり必要。

様式第5号

ウ	確かな学力の育成	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態にあった「新居高の授業」づくりが進む。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> テストの得点の競争ではなく、学習理解のたね丁寧な指導を大切にしたい。
		<ul style="list-style-type: none"> 全員が事前学習をしてテストに取り組んでいる。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 事前学習は習得度に直結するため、予習の宿題を出すなど検討してほしい。 成績の悪い生徒に対しては、個別に指導することが重要であろう。
		<ul style="list-style-type: none"> 学習評価について納得していると答える生徒70%以上 	A	A	
		<ul style="list-style-type: none"> 「自ら学ぶ意欲が向上した」と答える生徒の割合70%以上 「授業がわかりやすい」と答える生徒の割合80%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 教える内容のレベルが下がらないような授業運営に努めてほしい。
		<ul style="list-style-type: none"> 図書館利用の活性化 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 図書館は知の宝庫なので大切にしたい。 部活動が任意加入となり、放課後の使い方で図書館の利用も検討してほしい。 どこの学校も図書館利用は課題のようです。 高校生のうちに実際に本を手にとって活字を読む習慣をつけてほしい。
エ	コース制及び進路指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 学級減による課題や改善点の検討を経て新教育課程が確立する。 進路に必要な学力が身に付く。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 他校との差別化につながるため「コース制」を強みにしてほしい。
		<ul style="list-style-type: none"> 就職希望者の内定率100% 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 素晴らしい結果だと思う。 地元企業への就職の促進。 進路希望者を増やす進路指導や取り組みも必要と考える。
		<ul style="list-style-type: none"> 総合的な探究の時間により「進路意識が向上した」と答える生徒80%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 探究活動が「自分が必要とされる場所」となれると良いと考える。 湖西就職フェアでの様子を見ている個人で悩んでいる生徒が見受けられた。教員と立場の違う外部の活用を考えるべきと感じる。 生徒及び地元企業ともにインターンシップ等から地元企業への就職につなげることを促進することが有効と考える。 アルバイトで就職への意識を高める働きかけをしてほしい。

様式第5号

		<ul style="list-style-type: none"> 外部機関の活用、支援が充実する。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 市内には日本を代表する企業が多くノウハウを得る学習ができると考える。できることは協力したい。 出前授業で生徒たちは「将来何をしたいのか」等の発見も期待される。 就職と直接関係しないような交流、地域への愛着を持ってもらえるような交流を積極的にしてもらいたい（手筒花火保存会・カキ漁師・NPO 団体など）。
		<ul style="list-style-type: none"> 全生徒数に対して累計 25%以上の資格を取得する。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 資格取得も大きな目標となり、学習意欲や能力向上につながる。 工業コース以外の生徒や外国人生徒の資格取得へのサポートにも力を入れていただきたい。
オ	特別活動及び部活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会を中心に委員会活動において生徒の主体的な運営場面が増える。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 主催者意識や感覚を養えると良いと考える。 部活動をやっていない生徒を、生徒会活動に積極的に参画できる仕組みがあるといいと思う。 教員主導になるのは理解できるが、前年度活動のマニュアル化等を通じて自ら行動していけるようにする取り組みを期待したい。
		<ul style="list-style-type: none"> 効果の高い HR 活動や学校行事の充実を図ることができたと答える教員 80%以上 HR 活動に意欲的に参加できた生徒 80%以上 学校行事に意欲的に参加できた生徒 80%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> クラスや学年等、皆で達成する活動は大切だと感じる。
		<ul style="list-style-type: none"> 部活動に参加したことにより、人間的に成長できたと答える生徒 90%以上 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 部活動は周りの人との協力や協調性の大切さを覚える機会であると考えます。 高校生は体づくりをする上でも重要な時期である。運動部ではない生徒に対する体育での指導を期待する。 部活動に入らない生徒の別のやりがいや時間の使い方等については注意深く見ていく必要がある。

様式第5号

カ	保護者や地域等と連携し、開かれた学校づくりの推進	・保護者による支援金申請 90%以上	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・素晴らしい結果である。 ・C-learning で他の言語に変換可能。外国籍の保護者など非常に助かっている。 ・丁寧な対応に感謝する。
		・効果的に予算を執行する。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・節約は必要である。 ・生徒が作業にかかわる機会があれば参加することも有益だと思う。
		・適正な事務処理を行う。	A	A	
		・学校は相談に適切に対応していると答える保護者 85%以上	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が信頼されていることの表れと思う。 ・生徒から学校への相談に加え、先生方の気付きから生徒・保護者への連絡・報告する体制と関係作りにも期待する。 ・相談内容の共有、チームとしての対応が重要と考える。
キ	持続可能な教職員の働き方改善	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の様子がよくわかると答える保護者 70%以上 ・地域にタイムリーに伝わる学校だよりを年8回発行 ・メール配信登録率 100% 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS の活用は有効だと思う。 ・ホームページは、英語・日本語以外の言語対応の必要性を検討してみてもどうか。 ・他校のホームページや SNS を見て参考にしていくことが求められる。
		<ul style="list-style-type: none"> ・研修を適切に実施できたと答える教職員 80%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員も学ぶ姿勢が必要。今後も研修の充実を図ってもらいたい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・各分掌、学年より業務の平準化、効率化に関する提案を吸い上げ具現化させる取組 2件以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の情勢に合わせた改善を期待する。 ・日々の業務や授業対応における生成 AI の活用も進めてほしい。また、生徒の協力を得ることや生徒の主体性に任せることで、先生方の負担を減らす取り組みも進めてほしい。